



高小だより



2023年、いいスタートができました。

2023年が幕を開け、新しい年が始まり、ひと月が経とうとしています。始業式の日には、子どもたちの元気な声、元気な笑顔が戻り、学校は活気を取り戻しました。子どもたちのやる気に満ちた表情から、新しい年に向けての意気込みを感じることができました。

わたしたち教職員も、1学期2学期の子どもたちの様子を振り返り、新しい年に向けて、高茶屋小学校の子どもたちが今も将来も幸せに暮らしていくためには、どんな力をつければいいのかを考えました。このことは、子どもたちに始業式で3つの取組として、お話をさせていただきました。

まず、1つ目は、「授業の始まりと終わりの時間を守る。」です。

高茶屋小学校の子どもたちには、20分休みや昼休みに外で遊んでいる子どもたちが5分前になると教室に戻る習慣があります。その習慣をさらにグレードアップして、チャイムが鳴る5分前には次の時間の用意を始めて、チャイムがなったら、すぐに授業が始められるようにしていきます。時間が守れる人になって、周りの人から信頼されるようになってほしいと思います。

2つ目は、「算数の時間の始まりには、毎日3分間、タブレットを使った100マス計算をする。」です。

右のようなプリントの計算練習を今はタブレットですることができます。タブレットでは、終わってからでなく、答え合わせをしながら進めることができます。算数の時間の始まりのチャイムが鳴り終わったら、先生の合図ですぐに100マス計算を始める習慣をつけていきます。学年に合わせて、25マスや49マスなど工夫して、3分間静かに集中して取り組む集中力をつけていきたいと思います。集中力がつくと、同じことでも短い時間でできるようになり、時間を有効に使えるようになります。

百ます かけざん (1)

×	3	6	1	9	5	0	7	2	4	8
4										
8										
3										
6										
9										
1										
7										
5										
0										
2										

3つ目は、「朝の会、帰りの会の挨拶の時、椅子を机に入れて、きちんと立って、はっきり挨拶をする。」です。

1日のはじまりと終わりにきちんと挨拶をして、けじめのある生活をしてほしいと思います。「始めよければ終わりよし」ということわざがあります。物事の始めがうまくいけば順調に進んで、よい結果になるということです。1日の



